

201710月8日 主日礼拝（聖餐式）

プレイズ

奏 楽

使徒信条

賛 美 聖歌498番「歌いつつ歩まん」

（感謝と喜びを）（喜び喜びがある）

聖 書 ①ルカによる福音書 9章28～36節(p102)

②ピリピ人への手紙 4章4～10節(p312)

音 楽 小堀英郎氏、チェ・ドクシン氏、池田宏里兄

証 詞 ①森屋崇兄(ヨシユア会)

メッセージ ①「LIFE WORK シリーズ2」 倉知契副牧師

②「宗教改革の忘れ物」 大川従道牧師

賛 美 「主の喜びが心にあれば」（献金）

頌 栄 「主の名を賛美しよう」 アーメン

祝 禱

聖餐式

Rejoice in the Lord always:

And again I say, Rejoice.
(ヨシユアの会)

【町田ニュース】

- ・ 先週のほっとママの会が祝されました（参加6名）。お祈り感謝します。
- ・ 昼食後、**弟子学校**があります。（来週の予習・弟子の喜び5課・暗唱聖句A9）
- ・ 月曜日、**月曜礼拝はお休み**します。
- ・ 火曜日、**早天祈禱会**で大塚師が説教。お祈りください。
- ・ 今週も祈禱会を大切に(Y)。水曜夜7時半は久保田伝道師、木曜10時半は小林伝道師、金曜夜9時は石橋伝道師。
- ・ 木曜日12時。**東京プレイヤーセンター**（OCCビル3F）で大塚師が礼拝説教
- ・ 土曜11～15時。「町田防災ピクニック」、野津田神学校にて。
- ・ 土曜、**祈り会**は午後4時半。祈りは力です。
- ・ 11月3日(金)「**二つの翼カンファレンス**」。福島・蓬萊キリスト教会にて。
- ・ 毎日、通読表(聖務表)に従い、Q.T.をしましょう。



畑の中の宝物

先月、中野ゼロホールでの「宗教改革500周年記念」で、5人の講師によるリレーメッセージ(1人10分)がなされました。ルターがしたことを確認しましょう。

1. 「**信仰義認**」(妹尾光樹師)。ドイツではサンピエトロ大聖堂の資金調達のため、免罪符が独占販売された。それに対し、ルターはガラテヤ2章16節「人の義とされるのは律法の行いによるのではなく、ただキリスト・イエスを信じる信仰による」を基に、人が救われるのは善行によらない。キリスト・イエスに対する信仰によって義とされる、との真理を回復。プロテスタントの基盤となった。
2. 「**聖書信仰**」(佐藤成記師)。ルターは信仰によって義とされるという真理を、聖書の言葉によって確信を持った。以来、彼の従うべき最高の権威はもはや、ローマ教皇ではなく、聖書の言葉だった。人が間違っていれば聖書に照らし正すべきである。聖書に照らし、代々守られてきた伝統を再吟味していった。また、最高の権威である聖書を母国語に訳し、民衆が読めるようにまでした。
3. 「**万民祭司**」(中見透師)。当時は階級制で、信徒は聖職者を通してのみ神に近づけた。ルターは I ペテロ2章9節「しかし、あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司・・・」を基にすべてのキリスト者は平等に神の前に出ることができるとして祭司の役割—とりなしの祈り、神の言葉を伝える働きを担う、とした。
4. 「**トランスフォーメーション**」(稲福エルマ師)。16c、ルターによる改革。18c、ウェスレーによるきよめのリバイバル。19c、福音主義運動。20c、ペンテコステ運動。1960年代、カリスマ運動。トランスフォーメーションは、自分の教会を聖書に照らして吟味し、継続されるべきものである。その目的は「しみもしわもない清く傷のない栄光の教会を建てさせる」(エペソ5章27節)ことである。
5. 「**新しい賛美**」(細井眞師)。よく見落されるが、ルターは礼拝を改革した。礼拝をラテン語から母国語にし、讃美もラテン語の普通の人々が歌えない複雑な旋律から、母国語の簡単な旋律のものに変革した(ゴスペルの始まり)。その礼拝に出た人々の反響は大きく、心に言葉が残るようになり、歌詞で養われるようになり、みなで歌えるようになり、どこでも賛美・礼拝できるようになった。賛美を通し信仰義認、聖書信仰、万民祭司なども意識付けされた。

大塚信頼

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう。

Aコース:ピリピ4章～ I テサロニケ2章 Bコース:イザヤ39章～55章